

よい会社をつくろう。よい経営者になろう。よい経営環境をつくろう。

2016
10月号
vol.603

月刊

同友

MONTHLY COMMUNICATION MAGAZINE DOYU

豊かに働く環境づくりへの提案
もっとオフィスをおもしろく



特集

社員教育は社長教育から

～共に育つ、を掲げる共育委員会の実践～

21世紀型
自立型
企業づくり

『ゼロ』から『イチ』を創る

中島 洋史 氏 [株式会社アドアルファ]

準特集

「海外で勝負」、その思いをベトナムで実現
近々2店舗目オープン!めざすは100店舗!!

福岡同友会と福岡県信用保証協会
業務提携に覚書調印

社員教育は 社長教育から

「共に育つ」を掲げる共育委員会の実践

「社員を教育しても意味がない。できる人間は、別に会社で何かしなくても、自分で勉強して成長しますからね」と教育を諦めた社長、いらっしやいませんか？
しかし、本当に社員教育は効果がないのでしょうか？

同友会では「教育」ではなく「共に育つ、共育」と呼んでいます。「自ら考えて主体的に行動する人間に互いの違いを認めあいながら育ちあう」ことを基本に、よい会社・活き活きと働く職場づくりや、経営者のパートナーとなる幹部社員の育成を目指して経営者と社員が共に学べる機会をつくっています。福岡同友会の共育委員会の実践を紹介します。共に成長していく考え方を学びましょう。

共育委員会の主な活動

社会人例会 (年4回)

同友会会員は各支部で行われる毎月の「支部例会」で経営課題について学ぶ機会があります。社員にも同じように学ぶ機会になるのが「社会人例会」です。中小企業では得にくい社会性や仲間意識で成長を促します。

リーダー共育研修 (年1回)

未来の幹部、社長の右腕左腕を育てることは企業の永続にとって不可欠です。3回コースでじっくりリーダーに必要な項目を学び深めます。

各研修の企画会議

上記研修に社員を参加させる会員さんは一緒に研修の企画をします。カリキュラムの内容、課題や討論テーマなどを出し合うことで共育について学ぶ機会となります。企画会議に参加できない企業は原則社員の参加もお断りしています。

社員は最も信頼できるパートナー

社員と経営者が共に学び、高めあう場が共育委員会だと考えます。「豊かな人間性に裏打ちされた知識と感性の持ち主で健康な社員」を一緒に育んでいきます。

「社員を最も信頼できるパートナーと考える」という同友会の「人を生かす経営」の理念からすれば、その「資源」にさらに磨きをかけるためにも気付きを促す機会としての教育が不可欠です。そして経営者も共に学び共有し、社員のその後の成長のサポートをしていくことこそが「共育」であり、企業を継続させることにつながっていくと信じています。



共育委員長
光本 智恵子
(株)すこやか工房
代表取締役 (東支部)

昨今、中小企業には厳しい採用難が続き、これからの改善する兆しは見えません。そんな状況ですが、私たち中小企業では「人」こそが最大の経営資源であり、その資源は無数の可能性を持っています。

同友会 3つの目的

よい会社をつくろう

同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して、企業の自主的近代化と強じんな経営体質をつくることをめざします。

よい経営者になろう

同友会は、中小企業家が自主的な努力によって、相互に資質を高め、知識を吸収し、これからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。

よい経営環境をつくろう

同友会は、他の中小企業団体とも提携して、中小企業をとりまく社会・経済・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させ、日本経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。

月刊同友10月号 自立型企業づくり はみだしレポート

中島さんは、斬新なデザインでオフィスを創造します。私の事務所も平成24年にデザインしてもらい、社労士事務所としては、スタイリッシュなオフィスへと変わりました。
このように、オフィスデザイン、オフィス家具、それらがもたらすオフィス空間設計、リフレッシュできるオフィスと、オフィスへのこだわりが強いです。

オフィス設計をして、という中島さん、経営者というより「もっと、オフィスをおもしろく。」という方針をもとに職人肌を持ち、社内より現場に出るのが好きといつも言っています。
南支部では、5〜6年ぶりの復活で、3年



株式会社
アドアルファ
代表取締役
中島 洋史氏
(南支部)

本誌p6 掲載

前にブロック長、そして現在は副支部長として活躍してくれています。5〜6年の充電期間を経て、パワーアップして戻ってきてくれて、とてもうれしかったです。
最近、仕事も忙しく、煙草を再開し、体形もパワーアップしているみたいで、健康に気を付けてください。(^^)

社会保険労務士法人 COMMITMENT
北原 正 (南支部)



【今月の表紙】 撮影：富谷 正弘 氏 (株)ココスイメージ(玄海支部)

「豊かにはたらく場を増やす」という理念を掲げる株アドアルファ。「もっと、オフィスをおもしろく。」という基本方針の通り、自社でも心豊かに働ける空間づくりをされています。スタッフさんたちが仕事をしているスペースの横の階段を降りると、地下にミーティングスペースがあります。秘密基地のようなところで、落ち着いて話ができるスペースでした。こんな空間だったら心豊かに仕事ができるだろうなとすらやましく思いました。

初めて共育委員会に参加して

今回初めて共育委員会に参加させて頂きました。エントリーした理由は経営者の仕事の1つは社員教育だと思っているからです。

どんなに素晴らしい戦略があったとしても、その戦略を動かすのは社員さんであり、その社員さんがその戦略や仕組みを実行しなければ、絵に描いた餅になってしまいます。

会社を救うのは経営者ではなく社員さん一人一人です。そのために共にベクトルを合わせて共育するには適した場所だと思いました。また、他社の社員さんとふれあうことで仕事に対する考え方を教えてもらうことができ、会社が求めていることが今までよりも腹に落ちていくのではと期待しています。実行性や納得性を身につけてもらいたと思っています。

参加した入社2年目の女性からのメッセージです。



明石 勝善
(株)きねや
代表取締役 (東支部)

「色々な方と関わりを持って、自分は未熟だと気づきました。自分にしかないこと、自分のしなないといけないことを明確にできたら良いと思いました。」

そんなメッセージを頂いたことが共育委員会に参加させて良かったと実感できることです。



共育委員会が開催する研修の様子

共育委員会で自社が変わった!



有田 栄公
有田電器情報システム(株)
代表取締役社長
(筑豊地区幹事長・嘉飯支部)

共育委員会に入る前には、共同求人委員会にて新卒定期採用を学び、約7年間新卒採用を実践しています。毎年若い社員が入社することで、私の課題であった組織作りがずいぶん形になってきました。

しかし、定期採用を続けるという課題をクリアした後、新人教育、管理職教育の課題がやってきました。技術を教えること、社内のルールを教えること、礼儀を教えること、その都度指導したり、小さな勉強会を開催したり、外部講師を招いたり、東京まで研修に行かせたり、それなりにやっているつもりでした。もっとよい研修があるのではないかと常に探している自分がありました。しかし、一向に組織が一枚岩になりません。見た目は組織に見えるのですが、烏合の衆のような感じから脱出できません。技術だけは長年必死に磨いてきましたので、社内に技術力があります。一人一人はできていても、組織になりきっていないことに、とて

も焦っていました。

そこで共育委員会に参加することになるのですが、学べば学ぶほど、私の考え方が間違っていることに気がきました。共育委員会に参加すれば、新人社員の研修マニュアルが手に入るのではないか、幹部研修やマネージャー研修などを自社に落とし込めるのではないかと、棒号表はどのように作るのか、うまくいっている人たちはどのような仕組みを取り入れているのか、そんなことを思いながら必死で学んでいました。

結局気付いたのは、小手先のマニュアルや制度ではなく、社長自身の日々の行動や考え方、そして本当に社員と向き合っているのか、そこに問題があったのです。経営理念の実践をしよう!などと、毎日社内ですべてが、実は一番できていなかったのが社長の私自身だったのです。ここに気付けたことが本当に良かった。10年後に気付いたのでは間に合わなかった。しっかりと組織を作りたいと思っ

入会した同友会でしたが、口先だけで、思いが、熱意が、決意が、まだまだ足りなかったようです。心のどこかで、真剣に改革する勇気がなかったのでしょうか。見せかけでした。

共育と組織作りは、社風と一緒で、マニュアルではなく、面倒でも、逃げたくても、忙しくても、かつこ悪くても、プライドを捨てて真摯に取り組み、私自身が変わること。叱るよりほめる。週休二日が達成できないのは、難しいから忙しいからではなく、私が真剣に決断していなかったようです。

題であった組織作りが毎年前進している私を見ていただければ、まだ行動に移せていない会員さんのためになると思い、自社の恥かしい面と私の至らなさを記した次第です。

じつは常日頃から、同友会の先輩経営者の方々は同じことをおっしゃっていました。「人を育てること、理念を浸透させることは、時間がかかるものだと思いませんか!まずそこからターゲットだよ!」と。教えることよりも気付かせることをやってくれる同友会ってほんとにありがたいと思います。



有田電器情報システム(株)
従業員の方と一緒に

共育委員会でどんなことをやっていて、どのようなことがよい点などを書こうかとも思いましたが、そんなことよりも、「会社が成長するかしないかは、社長次第であり、うまくいっていないのは社長が悪いからだ」と、心から気付いて、次第に行動が変わっていき、課

共育委員会 副委員長コメント

- 林田 選 (株)彩一いろどりー 代表取締役社長 (東支部)
「自社の悩みが企画に変わる魔法の委員会です。」
- 近藤 盛弘 (株)藤電気工事 代表取締役 (東支部)
「社員を変える前に、自分が変わる。そんな委員会です。」
- 高尾 英正 (株)ライズ 代表取締役 (福友支部)
「経営者の悩みをいかにカタチにするか。ここが私たちの最大の学び&実践の場です。」
- 福田 裕聡 (株)スマリオン 代表取締役 (南支部)
「おすすめです。社員と共に育ちながら会社も成長できる最高の場所です。」
- 内田 敏夫 (株)福岡市民ホールサービス 代表取締役 (福博支部)
「委員長のリーダーシップのもと、自分自身も勉強になっています。」
- 安藤 祐基 蛭子屋(名) 後継者 (嘉飯支部)
「活動を通して、自分自身への“気づき”と“学び”を社員と共に得られていると感じています。」
- 福永 智樹 ボイスプロデュース 代表者 (博多支部)
「研修などの本番だけでなく、事前の企画会議にもたくさんの学びがあります。」



『ゼロ』から『イチ』を創る

もっとオフィスをおもしろく

個人創業から設立して10年を目の前にしている(株)アドアルファ。ひたすら走ってきた年月を振り返っていたら、次の10年への思いを伺いました。



築50年以上になるビルを改築した事務所

たいと考えるようになってきました。ちょうどその頃、経営者と話す機会を増やせるということで、知人の勧めで同友会に入会しています。

岡村の営業担当にも、経営者と面談をさせてもらうようお願いしましたが、ある岡村の幹部から「中島君の気持ちはわかる。でもウチはメーカーなんだよ」と言われました。このことは中島さんが「自分はお客様の思いをカタチにするサービス業をめざしたいんだ」という方向性を認識する出来事でもありました。

設立を図る

そこで芽生えていた気持ちを実現すべく、方向性を明確にして(株)アドアルファとして設立を図るのでした。平成19年のことでした。すぐ仕事に来るはずもなく、ホームページなどで広告を出して、しのいでいました。さらにリーマンショックが起これば、もともと岡村の仕事をしていたスタッフ2名も抱えることになりました。

もっとオフィスをおもしろく

同友会の経営指針書作成セミナーにも参加しました。作った理念は「豊かにはたらく場を増やす」。基本方針を「もっと、オフィスをおもしろく。」としました。壁がななめでいけないことなく、社長室にドアがなくてもかまいません。部屋を一つ減らしてその分廊下を広げれば、お

「この時期はとてもきつかったです。でも何とか切り抜けていきました。」同友会にも改めて参加するようになりまし。 「お客を1社に限定するのは危険である」「経営者と技術者の2足のわらじは履けない」などと会員仲間からいろいろ指摘されました。

「私なりに」とんがっていた」といいう気持ちはありました。どこかに反骨精神がありました。でも冷静に考えると確かに一理あると思うようになりました。」と苦笑いの中島さんです。

丁稚奉公、そして創業

中島さんは、昭和50年春日市に生まれました。父親はサラリーマンで高度成長期、バブル期そして崩壊後を「宮仕え」で働きつづけたといひます。「私が19歳の時、父は急死しました。朝会って、その日の夕方にはいなくなりまし。私は過労だと思っています。そのためでしょうか、会社に勤めるということには何か抵抗感がありました」と中島さんは語ります。

お客様と横に並んで歩くことができ、「もう一杯コーヒーでもいかがですか」などという会話も出てくるのです。

窓側は従来上司の席となっていました。日差しで暑かったりパソコンが見づらかったりします。そこで段差を利用するなどしてミーティングスペース

メーカーとサービス業の間で

岡村製作所からの仕事はオフィスの設計です。岡村サイドからも評価を受け、手がけた設計は500件に上ります。数をこなした20代でした。スタッフも10名にふくらんでいきました。

設計するにあたり、中島さんはその経営者と話をし、思いをカタチにし

お客様と横に並んで歩ける空間

「もう一杯コーヒーいかがですか」

そんな会話の出てくるオフィスがおもしろい



くつろぎを意識したミーティングスペース

株式会社アドアルファ
創業 2001年1月1日(2007年9月3日法人化)
住所 福岡市博多区御供所町3-32小金丸ビル1階
電話 092-984-1112
従業員数 4名
URL <http://addalpha.co.jp>
事業概要 オフィス空間企画、設計デザイン及びプロジェクト管理
デザイン・パース及び手描きスケッチ、イラスト制作



株式会社アドアルファ
代表取締役

なかしま ひろし

中島 洋史 氏

南支部

取材 広報部
文章担当 菅原 弘(東支部)
写真 真 富谷 正弘(玄海支部)

ひろがる 産学官連携

～九州情報大学「キャリアデザイン講義」～

(株)システム企画 代表取締役 倉本 明彦 (南支部)



6月8日(水)の10時30分から12時までの90分の講義を受け持ちました。この講義は、九州情報大学が福岡同友会に入会したことをきっかけにして、福岡同友会が2013年から始めたもので、毎年数名の経営者が学生に直接講義をするものです。今回私に声がかかったのは、福岡1丁部会として、毎年1年生を対象に「ほんまでつか中小企業」の特別授業を支援してきたからだと思っています。

同友会の例会準備と同じように、まず対象となる3年生の学生さんに伝えたいことを考えました。キーワードを次のようにまとめました。

- 「自分の存在価値は？」
- 「何のために働くのか？」
- 「常に考える」姿勢
- 「今だからできる友人」
- 「今ここ、何をやるべきか？」

本番1週間前に、社員を集め、講義の目的を伝え、プレを実施しました。そのときの社員の反応は「90分の講義に対し、45分で終了した」、「言葉の意味が学生には伝わらない」など、厳しい意見でした。社員に感謝しながら、本番までに再度編集を行い、当日に備えました。当日は、ももクロと、キャンディーズの比較から始まり、「学生と社会人の違い」、「会社の経営パターン(トップダ



ウン・全員参加型)」、「大企業が中小企業か?(メリット・デメリット)」、「何のために仕事をするか?(経営理念)」、「自己分析(SWOT)」、「友人との関係」、「成功する人・しない人」について、お話ししました。学生との掛け合いもあつたので、時間はちょうど90分でした。

講義が終了すると、学生はレポートを書いて提出しました。大学側から後ほどレポートを見せてもらおうと、感想や質問がありました。「中小企業が面白そう」という感想には、この講義支援の目的を少しは達成できたかなと思いました。質問への回答を、先生に即日返信すると、翌日には質問した学生からお礼のメールをいただきました。このスピード感覚と、先生と生徒の関係にも感動しました。

これからも継続して地場中小企業の魅力を伝えていけたらと思います。



(株)アドアルファが発行したフリーペーパー「MOFF」

「オフィスにお金をかければ働く人も変わる」が認知される中で、お客様が考えている以上のオフィス空間を提案する。私たちのこだわりです。

「こだわりでしょうか。レイアウト、家具にしても吟味しています。意匠性、すなわちカタチ・色・模様などに工夫を施し、お客様が考えている以上の提案を心掛けています。」

この答えこそが同社の強みです。リピーターの多さも満足度のバロメータでしょう。

「環境が変わればそこで働く人も変わります。一昔前は、オフィスにお金をかけてもしょうがない、オフィスはお金を産まないなど言われました。しかし、これからはファシリテイ・マネジメントとして、費用が発生することでも認知されるようになってきていると思います。」

オフィスデザインを専門にしているのは西日本ではアドオフィスしかないと言われるまでの存在になってきました。

戦略としての『MOFF』

戦略の一つとして1年間限定で『M

OFF』という媒体を創りました。『M ORE OFFICE(もっとオフィスをおもしろく)』からの造語です。紙媒体でフリーペーパーとしました。上質紙を八折りにして見開きできるようにしています。デザイン性にこだわって作りました。これで経営革新の認証を受けています。オフィスを竣工されたお客様に贈呈し、配っていただくようにしました。『満足した顧客は最高のセールスマン』の言葉通り、この媒体が独り歩きをして多くの人の目に留まり、同社のPRに役立ちました。「いつでも再開できるようにしています」と中島さんは語ります。

オフィスビジョン研究会

現在取り組んでいることは「オフィスにビジョンを持つ」という旗印(スタンダード)に「オフィスビジョン研究会」を立ち上げ、セミナーを企画しています。このセミナーの主催は九州経済調査会です。福岡七社会をはじめ

福岡の名だたる企業が名を連ね、福岡のシンクタンクと言える組織です。九州経済調査会では「経済図書館がビズ・コミュニケーション・ライブラリーBIZCOLI(ビズコリ)」として渡辺通に生まれ変わりました」とPRしています。

そこを会場として、コワーキングスペース、メンタルヘルス、サードプレイスなど様々な切り口でオフィスにまつわるセミナーを開催しています。今までにないオフィスの提案の場になっています。

『ゼロ』から『イチ』を創り出す

取材の最後に中島さんの考える自立型企業について伺いました。

「100%下請けからスタートしました。ウチはまだまだ自立型まで行っていませんが、今取り組んでいるのは『ゼロ』から『イチ』を創り出すことです。もともとあるモノを増やしていくのも仕事でしょうが、新しい発想をセミナーを通して発信していきたいと思っています。また、来期で設立10年になります。100社100様と言ってきましたが、間もなく実績が100件目になろうとしています。ひたすら走ってきた10年でした。次の10年は新しいものを創りだして地域に貢献していきたいと思っています」と中島さんに締めたいいただきました。

取材協力ありがとうございました。



田浦 通氏 (福岡同友会 代表理事) 牛尾 長生氏 (保証協会 会長) 中山 英敬氏 (福岡同友会 代表理事) 樋口 康治氏 (福岡同友会 代表理事)

福岡同友会と福岡県信用保証協会 業務提携に覚書調印

平成28年8月2日(火)



調印式の様子

福岡同友会と福岡県信用保証協会(以下保証協会)は、中小企業者等の経営の安定と経営基盤強化のための支援に、連携して取り組むことを目的として、このたび業務提携を行いました。これは秋田同友会に続いて2例目です。保証協会からは、牛尾長生会長他4名が出席し、福岡同友会からは、中山英敬、樋口康治、田浦通の3代表理事他3名が出席しました。

まずは意見交換会を行い、改めてお互いの取り組み内容を確認しました。福岡市内で4店舗を展開するもつ鍋専門店・(有)楽天地。経営者の水谷崇さん(福博支部)は、いつか海外で勝負したいと思いつき、昨年11月、ベトナム第一の都市ホーチミンに出店しました。ところが、ベトナムのモツは独特のニオイがあり、好まれる食べ物ではないそうです。理由を尋ねると「こちらではモツは洗いません。だから、クセが強いんです」とのこと。そこで水谷さんは直接、屠殺場に行き、自分でモツを加工しながら洗うことにしました。そうすることで福岡と同じ味が出るようになったといいますが、「社員に食べてもらおうと、これがモツかと驚かれました」

信用保証協会は「中小企業の情報収集や金融サポートを行なうために企業訪問を推進している。また、すでに県内8信金や福岡銀行と提携を行い、今年には福岡市や北九州市ともそれぞれ提携し、市の創業支援資金を利用する場合は保証料をゼロにするといった取り組みを始めている」というのが印象的でした。その後、調印式が執り行われ、牛尾会長は「中小企業の活躍なくして地域創生はない。同友会の方々の知恵を借りながら、中小企業の支援を行ないたい」と意気込みを語りました。中山代表理事は「中小企業を応援する気持ちが伝わり、大変うれしい。若者の流出などにより人材獲得が難しい状況であるが、同友会は魅力あふれる企業づくり、中小企業振興基本条例をいかした地域づくりを運動の中心に据えて活動してきた。締結で終わらず、一緒にできることか



調印式前の懇談



1:ベトナム進出を果たした楽天地の水谷崇さん 2:ベトナム店の外観。スタッフと打ち合わせ中 3・4:ベトナム人のお客様と記念撮影



「海外で勝負」、その思いをベトナムで実現 近々2店舗目オープン！めざすは100店舗！！ もつ鍋専門店・(有)楽天地の水谷崇さん(福博支部)

取材・撮影 間々田 正行(福博支部)

着させたいとの願いを込めています。おかげでリピーターも増え、売り上げも順調に推移。2店舗目のオープンも決まりました。その陰には優秀な現地スタッフの存在もあります。「今は5人の社員とアルバイトで切り盛りし、私がこちらにいない時は女性のリーダーに任せています。性別に関わらずベトナムの人はまじめですね。また、仕事に意欲的な人が多い。ベトナムでホームページを立ち上げたいと話したら、女性リーダーが作り方を勉強して自分が立ち上げますと宣言してくれました。」

ベトナムは今、経済的に伸び盛り。働き手が足りないため共働きも多く、外食する傾向が高いそうですが、その割に飲食店は少ないといえます。「ここ数年がビジネスチャンス。うちの味がもっと口コミで広がれば爆発的に店は増えるはずですよ」と水谷さん。現在、ひと月のうち、福岡に20日、ホーチミンに10日という多忙な日々を送りますが、「同友会の合同入社式に現地採用の社員を連れて行きたい」と意気盛んです。

めざすはベトナム100店舗。さらに、もつ鍋界のデイズニーになる！と大スケールの夢を描いています。



店前の道路は、通勤時間帯になるとずさず多数の通勤者がバイクや車で通り、大混雑。ベトナムの勢いを感じます



スタッフ勢揃い。お客様からのメッセージ、I shall return.



ブルーオーシャン「独自の市場」

企業連携推進委員会 F A S T

委員長 伊藤裕一



「お疲れ様です」の挨拶から始まる13人のプロデューサーによる
毎月の企画会議で共有された方針は、我らの企業にとって今の課題は何なのかである。
高度な情報社会、変化の速い社会、成熟した社会、自己実現の社会等、
その多様な性格が混在する社会の本質を捉えながら、我らの企業の今の課題を討議し、
方針を模索していく、その根底にあるのは企業連携の追及である。

企業連携推進委員会FAST

毎月（第四火曜日）の例会では、我ら企業の一社一社の強みは何か、得意技は何か、こだわっているものは何か、異業種の会員が集まり異なる立場から企業課題に様々な意見を出し合い、学び合い、気づきあうための交流の場が企業連携推進委員会である。

企業の三大基本「ひと・もの・かね」はどれも無くしてはならないことではあるが「仕事づくり」の活動を行う企業連携推進委員会は「もの」への付加価値を一步でも高めることに取り組んで、新たな仕事づくりと企業体質の強化をめざしている。産学官連携の活動で学と官からFA

ST活動に提案を頂きたいいくつかの
中で二つの事例を挙げる。

産学官連携の方程式

湯本長伯元九州大学教授の提案、
中小企業の連携の方程式A+B=C
は連携の大切さを示す一つの方程式
である、A企業の強みとB企業の強
みを足し算することによってCとい
う新たな商品及び新たなサービスと
いう価値創造により、市場そのもの
をコソッと創り出すことにある。
なぜ掛け算ではなく足し算なのか。
その理由は掛け算を進めると利益は
大きい、もしその掛け算の中に
〔-〕があったなら、その時まで順調
に進んでいたことが〔-〕を掛けて

事態が一変することは良く経験する
ことだからである。

真・連携

松田一也基山町長（元経済産業局
課長）の提案、「真・連携」は産学官
連携では数々の連携の方法が生まれ
たが、自主・民主・連帯の精神をも
って「信頼と情熱」を高めて取り組
むことが絶対不可欠であるという考
え方を提案された。FASTはその
ことを実践している。

ブルーオーシャン

産学官連携の中からの仕事づくり
を目指すFASTの11年間の活動で
は全国的に大きなネットワークがで
きた。企業連携推進委員会は市場を
獲得するために争うことなく、既存
の製品やサービスを進化させ、また、
産学官連携から新製品・サービスを
創り出し、自ら新たな市場をデザイ
ンした。よい会社をつくる活動のそ
のものが、ブルーオーシャン（独自
の市場）を目指している活動なのか
もしれない。

「今を変えなければ、未来は変わらない」

五郎丸 歩より

2016年度 第4回理事会報告 (一部抜粋)

日時 2016年8月24日(水) 14時30分～17時40分
会場 福岡県中小企業振興センター202会議室

出席 48名(出席率81.4%)
議長 森 茂博(副代表理事)

討議事項

1. データベースプロジェクトの進捗状況

データベースプロジェクトの経過報告と入札、要件(こちらが要望を出したようにシステムを作れるかどうか)、システムの概要、見積について説明があった。審議した結果、データベースシステムの予算執行について承認があった。

2. 福岡県中小企業政策に関する要望と提言

資料をもとに説明があった。要望および提言の内容は下記の通り。

- ① 地域の未来を語る「場」を地域単位でつくる。
- ② 福岡県中小企業振興基本計画の実現をめざした協力・協働。
- ③ 悉皆調査を実施し、地域ごとの実態把握を。
- ④ 中小企業の魅力・存在意義を伝えるための機会をつくる(条例を生かす)。
- ⑤ 地域から若者が流出しないための教育環境整備を重視する。

以上を支部、地区、委員会等で協議して意見を集約し、次回の理事会で審議し、承認後提出することとした。

報告事項

1. 熊本地震義援金の報告

2016年4月21日から7月31日までに集まった義援金2,062,222円、福岡同友会より支出した義援金2,000,000円、合計4,062,222円が集まり、支援物資等の費用を差し引いた3,833,344円が熊本同友会に送られた旨報告があった。

全国では、福岡の義援金も含めて77,192,086円が集まり、支援物資等の費用を差し引いた68,549,998円が熊本同友会、6,000,000円が大分同友会に送られた旨報告があった。

2. 会員企業の動きなど

経営革新計画承認企業について下記を資料にて確認。
2016年7月(県14社/うち同友会会員企業3社)

●倉富 英史氏 (有)クラトミ(福友支部)
<テーマ>移動巡回車と医療連携による新規顧客(筑後地区)獲得による新規拡大

●安永 隆範氏 アルク九州販売(有)(青年支部)
<テーマ>非公開

●古賀 勝也氏 (有)小川紙工(筑紫支部)
<テーマ>植木生産農家に対する小ロット、短納期に応える生産体制構築による新規顧客拡大

※ 累計で福岡県全体では5,006件、会員企業は392件。

3. 福岡県信用保証協会との業務提携締結の報告

8月2日に福岡県信用保証協会と業務提携の覚書を締結した旨報告された。

4. 福岡県内8信金との業務提携について

10月20日に県内の8つの信金と業務提携をする予定である旨報告された。

※その後「業務提携を受けてどのような活動を行うのか」のテーマでグループ討論をし、グループ討論後、2グループから討論内容の発表があった。

理事会報告全文は、e.doyuの文書管理(理事会報告-2016年度)にアップしています。会員の方は全て閲覧できます。

これからの時代を切り拓くのは「同友会運動を活かした自社経営」

第24期 役員研修大学 第3講

10月15日(土) 15:00~18:30

テーマ 経営指針の重要性

報告者 森 茂博氏 (株)和新工業 代表取締役(筑紫支部)



森 茂博氏

(株)和新工業
■設立 昭和31年4月
■資本 金4800万円
■従業員 27名
■業務 土木・建設用鋼製仮設機材、
物流機器製造販売及び、レンタル

経営指針作成運動の先頭に立ち、自社経営にて成文化した指針を如何に実践していくかを日常的に追求し、この事を通して全社一丸体制を築きながら実践されています。現在、福岡同友会副代表理事で人を生かす経営推進本部の本部長。

体験報告 『同友会と私の経営』 山田 秀樹氏 日本ビルケア(株) 代表取締役(福友支部)



会員からの投稿

Voice

パピーウォーカーを経験して

6月7日、盲導犬訓練センターでパピー(子犬)の委託式がありました。妻と娘と3人で、今回はどんなパピーが来るかとわくわくして待っていると真っ黒な塊が・・・。「今度は写真を撮って成長記録を」と勇んでつぶらな瞳のイエローを想像していた私は一瞬がっかり。でもこれは預りもの。将来目の不自由な人の杖となるのです。「デイル号です」と渡された黒いラブラドルの雄の子犬は他の兄弟犬と共に吠え合って元気です。人手に渡される子犬の気持ちを押し測りながら娘が愛おしそうに抱えました。今回8匹も産んだという母犬も子供たちを見送りに繁殖ボランティアさんご夫婦と共に来ていました。「大事に育てるからね」と母犬に挨拶してあずかってきました。

盲導犬育成には様々なボランティアが必要です。盲導犬となる子犬を繁殖するための親犬を預る「繁殖ボランティア」、生後2ヶ月から1才になるまで育てる「パピーウォーカー」、高齢や病気のため引退した盲導犬を引取って世話をする「リタイア犬ボランティア」。私たちはパピーウォーカーです。人間と共に生きていくための社会的訓練の期間ですが、何よりも人間が大好きになるように育てるのです。その間、1ヶ月に1回センターに行って基本的なしつけの方法を学びます。訓練士さんの自宅訪問もあります。何といてもまず排泄の習慣をつけるのが第一関門です。1年後には「ワンツー」の合図で排泄するようになります。1頭目のボランティアの時、天神の盲導犬専用トイレで「ワンツー」で排泄できた時は感動したものです。盲導犬はどこでも排泄はできませんから人は常に犬の状態を気にしておかなければなりません。散歩もだらだらとはできません。必ず人の左側にピタリと添って歩くのです。引っ張ったり、くんくんしたり拾い食いはいけません。待つことも大事です。人の足元で伏せをしてゲージ眠るほどになったらしめたもの。しかし、むやみに叱ることは厳禁。しつけの基本は「Good!」。

カリスマドッグトレーナーといわれるシーザー・ミランが言っています。「犬にはレスキュー、人には訓練を。最初からバカな犬はいません。訓練が必要なのは人です」と。犬の習性を知り、人が犬から頼られるリーダーになることが大切で、犬は「あなたのために何かしたい」、「ちゃんと指示して」といつも人の顔を見ているのだそう。



私たちには盲導犬を使用している視覚障がい者の友人がいます。彼は「このこが来てくれてから街を歩いていて声を掛けられることが多くなった」と嬉しそうに語っていました。盲導犬は視覚障がい者の相棒、家族、そしてコミュニケーションツールの役割も果たします。「働いている盲導犬には声を掛けしないで」と言われますが、ユーザーさん(犬を連れてくる人)には大いに声をかけて頂きたいものです。

我が家のパピーは9月で5ヶ月になりました。今がデストロイヤーと呼ばれる家中の物を破壊するラブラドルの月齢。最近では玄関から運んで来てガシガシする靴も、本当はいけないことと分かってきたようです。でもわかっちゃいるけど止められないお年頃。近年、ペットの老老介護が話題になっていますが、1年の期限付きなら大丈夫という方には自分の健康増進のためにもパピーウォーカーはお薦めです。我が家のパピーも半年後には見違えるような成犬に育っているはず。センターに見送った後、車中で夫婦で大泣きする姿が今から見えるよう。でもご安心ください。パピーは訓練士さんが大好き!ぶぶん尾をふって訓練士さんの後を追う犬たちを見ているとこちらまで楽しくなります。そして「君に合うユーザーさんと出会えるように」と心の中で祈ります。

公益財団法人九州盲導犬協会
TEL: 092-324-3169

投稿 富谷 正弘 (株)コスイメージ(玄海支部)



一般社団法人 福岡県中小企業家同友会
「月刊 同友」編集部

〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町9番15号
福岡県中小企業振興センタービル11階
TEL:092-686-1234 FAX:092-686-1230

北九州地区センター
〒802-0001 北九州市小倉北区浅野1-2-39
クルーズ浅野ビル 808号
TEL:093-551-3111 FAX:093-551-3344

県南地区センター
〒830-0038 久留米市西町1367-1
祥栄ビル2階
TEL:0942-33-3355 FAX:0942-33-3366

<http://www.fukuoka.doyu.jp/>

福岡同友会

検索